

安房教育フォーラム共催！

2月10日に、安房教育会館にて「安房教育フォーラム 2013」を開催しました。今年の講師は教育サポーターの仲島正教さんでした。

1時間30分の講演があつという間に終わり、もっと聞きたくなるような素敵な講演会となりました。手拍子で心を一つにするアイスブレイキングに始まり、「教育とは『足でかせぐ』『今日行く』『共育』である」「心の銀行にいっぱい貯金を！」「大人は子どもの未来への応援団」などの温かい言葉をいただきました。

また、心の距離を縮めるには、実際の距離を自分から歩いて縮めることが大切だということや、子どもの言葉を10秒立ち止まって聞いてあげること、そして抱きしめてあげることが大切。「あーよかったな あなたがいて」という気持ちをきちんと伝えることで人を幸せにできることなど、教師として、親として、関わりあって生きている一人の人間として大切なことを教えていただいた講演会でした。参加して下さった皆さんにこの場を借りて御礼申し上げます。また、この講演でもらった愛を子どもたちや自分に関わる全ての人に伝えていっていただけたら幸いです。

～参加者の感想～（一部抜粋）

愛情をもって子どもに接しているつもりでしたが、それを表現できていないなと感じました。
「10秒の愛」明日から実践したいです。

これから教員を目指していく者としてとても勉強になりました。子どもにとっては「過去」より「未来」という言葉がとても心に響きました。

先生の温かい言葉に、私の心の優しさも増えたように感じます。時に涙することもありました。この優しさを持ち帰り家庭・学校に分けていきたいです。

忘れかけていたこと、大切にしなければいけないことを再確認させていただきました。講師の明るさ、楽しさ、考え方の細かさ、前向きさ、大変有意義な研修になりました。

最高に素晴らしい時間を本当にありがとうございました。
「10秒の愛」「心に貯金して！」
一般女性



親しみやすい関西弁の、仲島先生。



身振り手振りを交えてわかりやすいお話でした。なぜ衣装が変わっているのかは、参加者に聞いてみてください。



「優」という字は「憂」から書くのです。その意味は・・・

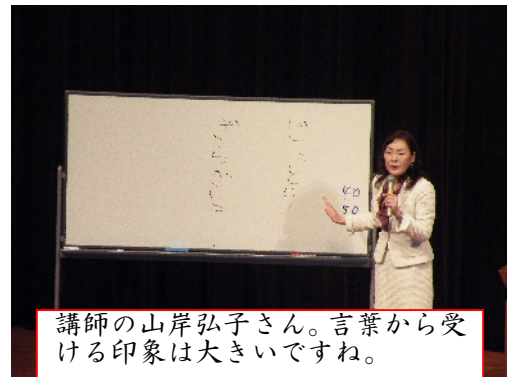
県教育フォーラム2013開催

2月2日(土)に県教育会館で「教育フォーラムちば2013」が開かれました。講師はNHK学園講師の山岸弘子さんでした。「プラス言葉が地域・子どもを変える」という演題で、参加者同士が実際に言葉かけをしあいながら、プラスの言葉かけで受け手の印象がガラリと変わるということを実感することができました。

コミュニケーション能力とは『話す力』『聞く力』『感じる力』『選ぶ力』だということや、「美しい言葉で子どもを包むと、子どもの心が変わる」という話など、印象的なお話をたくさん聞くことができました。

また「子どもたちの健やかな成長のために～寄り添っていますか？子どもの心に～」というテーマでパネルディスカッションも行われました。パネリストには、保護者・地域・教職員の代表が選ばれ、それぞれの立場から子どもたちの健やかな成長のために何ができるのか、どんなことをしていくことが必要かということについて考えることができました。

安房からは10人の先生方が参加されました。参加された先生方、ご苦労様でした！



講師の山岸弘子さん。言葉から受ける印象は大きいですね。



青年部県執の立野幹夫先生が問題提起の劇で大活躍でした。

福利厚生カードを作成します！

来年度から、安房・君津・市原、3支部共通の福利厚生カードを作成します。現在、安房支部の福利厚生特約店は18店舗あります。ここに、君津支部(約120店舗)と市原市支部(18店舗)の特約店も利用できるカードを作成します。クレジットカードサイズなのでお財布に入れて持ち運びできる便利なカードです。君津・木更津・富津・市原に行っても、いろいろな特約が利用できますので楽しみにしてください。

「なんぼ〜カード」(見本)です。特約店の一覧は、追って連絡します。専用ホームページを作成する予定です。

